

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月14日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 竹田知広、門谷牧子、中村誓、多賀野広数、福田敬三、岩崎真純、平岡絵美、安部幸子、大澤里佳、浦川良太郎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	5	4	0	9

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 新規利用の初期段階において情報共有を図る取り組みを継続させたくて、支援開始前と開始後で生活習慣やリズムが変化する事を踏まえ、もとの暮らしを尊重しつつ新しく導入されたサービスがより速く生活になじむよう、①利用開始時に作成②6か月に1回見直し③生活に変化があった時に都度修正する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> カンファレンス実施とその場での情報共有、及び訪問シートへ反映させて対応を定めてゆく取り組みは計画通り行う事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	5	1	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	7	1	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	6	1	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	3	4	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用前の情報には、これまでの経緯から多く得られるご利用者、そうでないご利用者の幅が大きい。ケアマネジャーから報告のあった情報は確認できている。</p> <p>事前の情報も重要であるが、支援を行ううちに変化してゆく事も多いため、常に新しい情報を得る事が出来るように業務に取り組んでいる。</p> <p>各自が進めたアセスメントについてはカンファレンス時に共有する事が出来ている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>実際のご利用の前に知っておきたい内容が不明であるままサービス利用が開始されることも多い。</p> <p>ご利用者から支援を断られるケースもある。まだお互いが慣れていない時に、安心して支援を受けて貰う事ができるように、対人援助技術を磨きたい。</p> <p>急に利用開始となるご利用者もおられる。事前に情報を得る事は出来ない状況では、判断に迷う事がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>訪問シート作成と更新を継続させると同時に、各担当職員がご利用者の個性をより尊重した内容を盛り込むことで、よりご本人の生活に寄り添った支援を目指す。</p> <p>これまでカンファレンスにて定めた内容を周知させる事としていたところ、担当職員の判断により即時に対応を開始させ、カンファレンス時にそのモニタリングを行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月14日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 竹田知広、門谷牧子、中村誓、多賀野広数、福田敬三、岩崎真純、平岡絵美、安部幸子、大澤里佳、浦川良太郎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	3	4	0	9

前回の改善計画

・担当職員が毎週のカンファレンスを利用して情報収集を行い、カンファレンスで出た意見等をモニタリング記録に記載する。それを計画作成担当者は次期ケアプラン作成に反映させる事を一連の流れとして行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

ほぼ欠かす事無く、カンファレンスを実施する事が出来たが、参加率が低くなりがちなパート職員の自己評価は低く、情報収集や意見集約を行うための仕組みづくりを進めてゆく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	2	4	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	3	3	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	3	3	0	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	2	4	0	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・実現するしないにかかわらず、「どうしてゆきたいか」「どうなって欲しいか」伺う事で、ご本人に前向きな気持ちになって貰えるよう、声掛けを行っている。

・自分が行って、手ごたえがあった支援や声掛けは、皆で共有できるように記録に残し、カンファレンスの場でも発表するようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

本人の意向と実際の支援とに違いがあるような場合、例えば「ずっと寝ていたい。」などとの訴えや、逆に「毎日(施設に)行きたい。」など、対応が難しいと感じる事がある。

時間や曜日の制約により、カンファレンスに参加できない事が多い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・より個別性を向上させる為、チームで収集した情報をもとに、ご利用者の担当ケアワーカーが計画作成担当と共にモニタリングを行う、それを基に次期ライフサポートプラン作成を行ってゆく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月14日

3. 日常生活の支援

メンバー 竹田知広、門谷牧子、中村誓、多賀野広教、福田敬三、岩崎真純、平岡絵美、安部幸子、大澤里佳、浦川良太郎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	6	0	0	9

前回の改善計画	<p>・担当職員により訪問シートの更新を行う。更新は手書きで追記する形で随時行うが、最低でもケアプラン更新時に合わせてデータ上に転記して更新する。担当職員が中心になって取り組むことにより、個別性の高い支援を実現できるようになる。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>訪問サービス提供時のご利用者ごとのマニュアルと言える訪問シートの更新やその度の確認は十分に目標を達成できた他、利用者の変化があった場合にも対応に洩れ、抜けが出ないように工夫する事が出来た。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	4	4	0	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	6	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	6	2	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	4	2	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4	4	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・パート職員とも協働し、訪問シートの更新を行う事が出来た。シートに落とし込むことで、各職員の気づきや対応が共有しやすくなり、ケアの質が上がった。</p> <p>・支援する機関が長くなることで分かってくることもあるが、ご利用者の状態はいつまでも同じではない為、その時その時に必要な支援を考えてゆかなければならない。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・職員の中でも経験や技術の差があり、定められた内容を誰もが出来る訳ではない。職員の性別や年齢などによって、ご利用者の態度が違う場合もあり、支援方法の統一を図るのは無理がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・個別性を重視しつつ、支援内容に優先順を設定し、必要な支援を適宜行う事ができるよう「訪問シート」を整理する。</p> <p>・訪問同行を行い、支援内容の均一化を図る事で、対応する職員によるサービスの質に差が無くしてゆく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月14日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 竹田知広、門谷牧子、中村誓、多賀野広数、福田敬三、岩崎真純、平岡絵美、安部幸子、大澤里佳、浦川良太郎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	2	3	3	1	9

前回の改善計画	•担当職員はご利用者やご家族に直接聞き取りを行う事で、ご本人の生活歴、地域と関わりについて内容を記録、整理する。また環境や人間関係、体力面の変化を考慮した上で、以前の暮らしと現在の生活のギャップを軽減させる事が出来る様に、毎週のカンファレンスで検討し支援につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	担当職員が中心となって、聞き取りやその内容の整理を行う事は数件を除いて実現しなかった。しかし少数であったものの活動の報告を受ける。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	3	3	1	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	3	3	1	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	6	2	1	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	4	4	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
•家族と同居されているご利用者宅では、訪問時や送迎の時にご家族から、現在困っている事や以前のご様子について聞き取りを行っている。 •時間のある時などには、ご本人から過去の生活や仕事の話などを聞き取り記録に残す事が出来た。 •訪問支援を行うご利用者については、生活スタイルを把握する事が出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
•民生委員や、地域(団地)の役職者など一部の方とは関わりを持つことができたが、自治会費の支払いや回覧板の受け渡しなどに留まっている。ご本人との関係性や、地域の方に自宅の見守りを依頼するなど、関係性を強くしてゆく取り組みを行ってゆきたい。 •他の職員が聞きとった内容についてご本人に尋ねると「なぜ知っているのか。」と不信感を持たれる事があった。ご本人との関係性に注意して情報を取り扱うようにしてゆきたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
•直接的に事業所が行うサービス内容の他に、ご本人が関わるその他の公的サービスや、社会資源について、ケアプランにて整理を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月14日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 竹田知広、門谷牧子、中村誓、多賀野広数、福田敬三、岩崎真純、平岡絵美、安部幸子、大澤里佳、浦川良太郎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	4	0	2	9

前回の改善計画
 ・昨年度に作成した地域資源一覧表を基に、ご利用者毎に社会資源とのマッチングを図り、事業所だけでは対応が困難なニーズやその方らしい生活が支援できるように担当職員と計画作成担当で計画を作成する。
 ・近くの商店での買い物や、食事をするなどの外出もサービス内容としてとらえその支援にあたる。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ご本人に買物に出て貰う事で、生活意欲の向上を図る事が出来たケースがあるなど、地域での生活を意識し支援に取り組んだ。その一方で、細やかにニーズに応じてゆく事が出来るご利用者と、アセスメント不足により、ニーズをとらえる事ができないご利用者との間で、サービスの質に差が出来つつある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	4	2	2	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	5	0	2	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	3	1	2	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	5	0	1	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・個別での買い物や、馴染である美容院の利用援助、臨時の通い利用や宿泊利用に対応する事が出来ている。
 ・通いサービスの行き帰りに買い物同行を行うなど柔軟な支援を行う事が出来ている。
 ・生協の宅配サービスを利用しつつ、本人のこだわりを尊重し、馴染の商店に通っていただく事が出来ている。
 ・体調や、その時期の気分の波に合わせてサービス量を増やすなどの対応を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・個別性の高い援助を行っているが、どこまで行うべきか判断に迷う場合がある。その時に対応する職員が応えなければいけないケースもあり、他のご利用者への支援に支障をきたす。
 ・社会資源が何を指すものなのか理解が出来ていない。
 ・職員によって、どこまでの支援を行うのか、差が出来てしまっているように感じる。ご本人と職員の関係性もあり、誰でも行える支援では無くなる事も出てきており、負担が偏る。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・ご利用者に対するアセスメントを進め、必要な量のサービスを見極めた上で、ご利用者一人あたりに対する、訪問、通い、入浴等のサービスを増やすだけではなく、減らしてゆく取り組みを同時に行ってゆく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月14日

6. 連携・協働

メンバー 竹田知広、門谷牧子、中村誓、多賀野広数、福田敬三、岩崎真純、平岡絵美、安部幸子、大澤里佳、浦川良太郎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	1	3	4	8

前回の改善計画
・担当職員は可能な限りサービス担当者会議への出席することで、担当職員として他の事業所や関係機関と協働している事を感じる機会を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果
直接担当者会議に出席する機会は多く取れなかったが、カンファレンスで協議した内容を、計画作成担当者を通じサービス担当者会議に反映させる事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	1	3	5	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	1	7	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	1	2	6	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	3	2	4	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域交流スペースの利用者を、事業所への訪問と捉えると非常に多くの方と交流が出来ていると言える。しかし、直接的な関わりが少ない為、恐らくお互いにその実感が無い。
・直接サービス担当者会議に参加する機会は無かったが、事前に協議内容を確認し、会議の内容を知る事で対応する事が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・単純に人員不足の為、計画作成担当者以外の職員がサービス担当者会議に参加する機会を作れない。
・特定の職員が参加し、後に情報提供を受ける形が定着している。担当のご利用者のサービス担当者会議や、退院時のカンファレンスに参加したいと思うが、同時に複数の職員が一般業務から離れるのは困難な状況である。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・利用者に変化があった場合や、連携して支援を行う際に担当職員や計画作成担当以外の職員でも即時に対応が行えるよう、ご利用者毎に、他の事業所や地域におけるキーパーソンについて連絡網を整理する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月14日

7. 運営

メンバー 竹田知広、門谷牧子、中村誓、多賀野広数、福田敬三、岩崎真純、平岡絵美、安部幸子、大澤里佳、浦川良太郎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	0	2	7	9

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 勤務調整し、一般職員も1回は地域ケア会議に出席する。 そのことにより地域や他事業所との関わりを認識し、事業所の役割を考える。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 役職者以外の地域ケア会議への参加は、業務都合によりほぼ行う事が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	2	3	2	2	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	2	2	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	3	2	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	3	3	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご利用者やご家族からの提言や苦情については、前向きに受け止め対応策を考え実施する事が出来た。 地域ケア会議には役職者等が参加しており、役職者が地域の会議に出席する事が出来るよう、事業所内で業務の調整など協力している。会議の内容については周知されている為、直接参加する事がなくとも十分に関わる事が出来ている。 特に支援を開始した直後には、どこまでの(支援を)して貰えるのか、ご利用者やご家族の方が悩まれる事が多いが、継続して関わりを持つうちに信頼関係によってある程度の線引きが出来てきている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 以前に参加した事があったが、一度だけ出席しても参加者と関係を作る事や、包括で行っている取り組みを理解する事は難しいと感じた。勉強の為に参加する事は良いと思うが、特定の職員が継続して参加する方が、意味があると思う。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 各職員が運営に携わる意識を高め、その意見をより事業所の運営に生かしてゆく事ができるように、役職者が部署毎の状況や現状の課題について定期的に協議する機会を作り、その内容を現場職員にフィードバックさせてゆく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月 日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 竹田知広、門谷牧子、中村誓、多賀野広数、福田敬三、岩崎真純、平岡絵美、安部幸子、大澤里佳、浦川良太郎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	4	0	4	9

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内研修の講師を役職者ではなく各自1つ受け持ち、講師として担当することにより職員同士で学び合う機会を持つ。(次年度年間研修計画作成時に受け持ちを決める)
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 外部、ないし法人内研修を受けた職員が、事業所内研修の講師を行う取り組みを進める事ができた。講師となる職員の習熟を進める事が出来たほか、その他の参加職員の研修時の参加度の向上を図る事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	4	1	1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	4	0	2	9
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	1	7	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	4	1	3	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 自分で見つけた外部研修に参加する事が出来た。 介護職員が行った外部研修の内容をもとに、事業所内で伝達研修を行っている。 内部研修には参加する事が出来なかったが、希望した外部研修に参加する事が出来た。 資格取得に向け、実務者研修を受講している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域連絡会への参加は出来ていない。 内部研修に参加したいが、家庭事情により勤務時間外に出席する事が難しく参加する事が難しい。 内部研修は、毎年同じ内容でありマンネリ化している部分がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 研修テーマにより、開催時期や実施時間を調整させることで、研修の参加率を向上させると共に、これまで参加が難しかった職員が同様に機会を持てるようにしてゆく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月14日

9. 人権・プライバシー

メンバー 竹田知広、門谷牧子、中村誓、多賀野広数、福田敬三、岩崎真純、平岡絵美、安部幸子、大澤里佳、浦川良太郎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	6	0	1	9

前回の改善計画

・ご利用者の金銭管理について不適切な取り扱いとならないよう、取り扱いに問題が生じそうなときには計画作成担当者に相談し、成年後見制度の活用もしくは社会福祉協議会の日常生活支援事業との連携を図り、公平で適切な対応を行ってゆく。

前回の改善計画に対する取組み結果

金銭管理について支援を要するご利用者について、家族、後見人と協議を行い適切な対応を定めてゆく事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	2	0	0	9
②	虐待は行われていない	6	3	0	0	9
③	プライバシーが守られている	5	3	1	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	2	2	1	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	3	1	0	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ご利用者の金銭を取り扱う時には、規定にのっとり記録を行っている。
・毎月の小規模会議にて、虐待や身体拘束について振り返りが行われている。それらが疑われるケースを、敢えて報告し、対応を検討する事が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・日常生活支援事業の支援員とやり取りをする事はあるが、郵便物や支払いの確認を行うのみであり、特に連携して支援にあたっているという印象が無い。
・成年後見人制度を利用しているご利用者はいらっしゃるが、どのように関わっているのかはわからない。
・フロアのテーブルにバイタル表や役割分担表などご利用者の名前が書かれている書類がそのまま置かれている事が多い。プライバシーの侵害に当たると意識しなければ治らない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・ご利用者に消費者被害や、それに類する状況に置かれた場合の対応方法について学び、速やかに対応が行えるようにする。

A. 事業所自己評価の確認

【3人中】

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	3		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	3		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	2		1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

- ・(全体的に) この評価項目はボリュームがあるので、評価が難しい。

【前回の改善計画に対して意見】

- ・特になし(評価項目が多すぎて難しい)

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

- ・(全体的に) 評価しにくい項目が多い中、自然にできる取り組み目標が良いのでは。
→その方にその時に必要なプランを立て共有し、実施していくことを目標に毎週カンファレンスをして都度目標を立てるようにしてきました。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・評価は難しいです。自己評価の中身に対して疑義があるわけではないが、それだけをもってはいともいいえとも言いにくいので、お任せしますというのが正直なところ。
- ・外部評価の立ち位置は、小さな事業所の中で、独自のルールや変な判断が生まれていないか指摘していくことも求められていますね。

【改善計画】※後日記入

※事①～⑨を参照

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	1		2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	3		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	3		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	3		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	2		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・きれいにされていると思います。

【前回の改善計画】

・常に清潔で落ち着いた空間となるように、フロア待機の職員が2名以上いる日は1名が清掃及び整理整頓を行う。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

・入りやすいように、業務時間中は1階の電気をつけておくようにされているので入りやすい感じにはなっています。

・不審者が入ってきたことはありますか？

→今まで不審者が入ってきたことはありませんが、1階の自販機を地域の方が散歩おついでに寄ったり、隣の施設の方が買いに来たりしているので、入りやすい雰囲気ではあるのかと思います。ただ、だれでもは入れるところに防犯対策がないというのは危険ですので、次年度は防犯カメラの設置を検討しています。

【今回の改善計画】※後日記入

・日常的に行う清掃のほか、駐車場前の花壇に植物を植えることで、明るく親しみやすい環境づくりに取り組む。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	2		1
1	職員はあいさつできていますか？	3		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	3		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- すごく丁寧にされていると思います。一方で、そこまでしないといけないものかとも思います。
- 利用者以外の地域の方とのかかわりについては、利用者の確保やサービス提供のしやすさ、地域福祉の向上等において必要ですので、やはり地域との関係構築は必要なことと考えています。

【前回の改善計画】

- 引き続き秋まつりに屋台を出店し、当事業所を知っていただく。
- 統一夏祭りへ利用者と参加し、地域の方とのつながりを持つ。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- サービス利用前や、サービスにつながらない方であっても、関係機関との連携ができていると思います。

【改善計画】※後日記入

- ふれあい祭り、夏祭りへの継続的な参加を行うとともに、施設に訪れる地域の方へ向け、事業所の取り組みや、行事についてPRするためのポスターを1Fに掲示する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	3		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3		
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	3		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		1

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> • できていると思います。 <p>→送迎や訪問の時に道でとどまっている人や転倒しそうな方、団地で上りにくそうにしている方などあれば、情報を持ち帰り、包括につなぐなどしています。</p>
<p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各利用者が地域行事へ積極的に参加できるように、ケアマネを通じて各地域の行事計画の収集と、希望に応じた行事参加の企画を立案し、実施、評価する。 • 引き続き、お一人暮らしの方などを支えるために、民生児童委員の方等と情報共有しながら支援する。
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> • できているのではないのでしょうか。
<p>【改善計画】※後日記入</p> <ul style="list-style-type: none"> • 事業所のご利用者以外の、地域にて心配されている高齢者の暮らしを支えるため、地域包括支援センターや民生児童委員との情報共有を継続させる。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	3		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	2	1	
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	3		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	3		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議においても真摯に取り組まれ、一生懸命されていると思います。

【前回の改善計画】

- ・運営推進会議で、地域の心配な方について共有する議題を設け、会議に取り上げる。
- ・法人内メールを活用して運営推進会議録を配信し、職員周知する。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・（他の事業所では）形式的にやっているだけで、家族が意見を言えないような会議をしているところもありましたが、ここは丁寧に意見を求めているので、感心しました。

【改善計画】※後日記入

- ・地域課題について情報の共有を行うとともに、問題を掘り下げ地域ケア会議と連動した取り組みを行ってゆく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	2		1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3		
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	3		
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		3	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3		

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に問題ないと思います。
<p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉ゾーンの消防互助会による合同訓練を活用し、災害時に具体的な連携について協議する。 ・非常食を流通備蓄だけではなく、保存食も計画的に購入していく。
<p>【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やるべきことをやっていると思います。
<p>【改善計画】※後日記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉ゾーン消防互助会による連携を継続、強化させてゆく。 ・非常食、非常時用の物品を整理し、取り扱いに習熟する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 京都福祉サービス協会	代表者	理事長 浅野信之	法人・ 事業所 の特徴	「くらしに笑顔と安心を」の理念のもとに、京都市に多種多様な介護事業所を持つ法人である。 事業所は桂坂学区の福祉ゾーンに位置し、洛西ふれあいの里保養研修センターが担ってきた地域コミュニティの拠点としての役割を踏まえ、高齢者の居場所づくりの推進や、地域住民同士の交流の場の提供など、地域で高齢者を支えるネットワークの構築を進めていく。また、地域との関係性を大切にしながら、利用される方がいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられるように支援している。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 桂坂	管理者	浦川良太郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	2人	1人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	9項目の自己評価から抽出された改善計画を実行できるよう、具体的な目標を設定した。 ※別紙参照	その方にその時に必要なプランを立て共有し、実施していくことを目標に毎週カンファレンスをして都度目標を立てるようにしてきました。	・特に意見なし(この外部評価の項目に対して、評価項目が多すぎて難しいという意見あり)	9項目の自己評価から、課題を抽出し具体的な目標設定を行った。 ※別紙参照
B. 事業所のしつらえ・環境	・常に清潔で落ち着いた空間となるように、フロア待機の職員が2名以上いる日は1名が清掃及び整理整頓を行う。	1階の自販機を地域の方が散歩おついでに寄ったり、隣の施設の方が買いに来たりしているので、入りやすい雰囲気ではあるのかと思います。ただ、だれでもはいれるところに防犯対策がないというのは危険ですので、次年度は防犯カメラの設置を検討しています。	・きれいにされていると思います。 ・入りやすいように、業務時間中は1階の電気をつけておくようにされているので入りやすい感じにはなっています。	日常的に行う清掃のほか、駐車場前の花壇に植物を植えることで、明るく親しみやすい環境づくりに取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	・引き続き秋まつりに屋台を出店し、当事業所を知っていただく。 ・統一夏祭りへの利用者との参加し、地域の方とのつながりを持つ。	利用者以外の地域の方とのかかわりについては、利用者の確保やサービス提供のしやすさ、地域福祉の向上等において必要ですので、やはり地域との関係構築は必要なことと考えて支援しています。	・すごく丁寧にされていると思います。一方で、そこまでしないとイケないものかとも思います。	ふれあい祭り、夏祭りへの継続的な参加を行うとともに、施設に訪れる地域の方へ向け、事業所の取り組みや、行事についてPRするためのポスターを1Fに掲示する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・各利用者が地域行事へ積極的に参加できるように、ケアマネを通じて各地域の行事計画の収集と、希望に応じた行事参加の企画を立案し、実施、評価する。 ・引き続き、お一人暮らしの方などを支えるために、民生児童委員の方等と情報共有しながら支援する。	送迎や訪問の時に道でとどまっている人や転倒しそうな方、団地で上りにくそうにしている方などあれば、情報を持ち帰り、包括につなぐなどとしています。	・よくできていると思います。	事業所のご利用者以外の、地域にて心配されている高齢者の暮らしを支えるため、地域包括支援センターや民生児童委員との情報共有を継続させる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議で、地域の心配な方について共有する議題を設け、会議に取り上げる。 ・法人内メールを活用して運営推進会議録を配信し、職員周知する。	・運営推進会議の議題に地域の困りごとを設け、必ず触れるようにした。 ・運営推進会議のファイリングはしていますが、今後はイントラネットを活用した周知をしていきます。	・運営推進会議においても真摯に取り組まれ、一生懸命されていると思います。 ・(他の事業所では)形式的にやっているだけで、家族が意見を言えないような会議をしているところもありましたが、ここは丁寧に意見を求めているので、感心しました。	地域課題について情報の共有を行うとともに、問題を掘り下げ地域ケア会議と連動した取り組みを行ってゆく。
F. 事業所の防災・災害対策	・福祉ゾーンの消防互助会による合同訓練を活用し、災害時に具体的な連携について協議する。 ・非常食を流通備蓄だけではなく、保存食も計画的に購入していく。	・消防互助会による震災対応訓練の実施 ・非常食の購入 ・非常用発電機を各フロアに設置(助成金活用)	・やるべきことをやっているといます。	福祉ゾーン消防互助会による連携を継続、強化させてゆく。 非常食、非常時用の物品を整理し、取り扱いに習熟する。

